

冬山に親しみ、技量を図る

# 南八ヶ岳 赤岳山行

2022年 1月 7日～9日

<参加メンバー> 5人(男性4人、女性1人)

<天候> 晴れ

## <コースタイム >

- 1月7日 19:00 JR 川西池田駅発  
24:00 八ヶ岳山荘着(仮眠)
- 1月8日 7:20 八ヶ岳山荘出発(南沢経由)  
11:05 行者小屋着  
11:40 行者小屋出発  
12:45 2609m 地点で引き返す  
13:40 行者小屋  
14:55 赤岳鉱泉
- 1月9日 7:40 赤岳鉱泉  
ロープワーク  
10:55 八ヶ岳山荘着

## <山行の概要 >

7日 19時に JR 川西池田駅に集合。八ヶ岳に向けて出発。8日と9日の天気は快晴予報だが、登山計画を立てた赤岳登頂日の9日は、風が暴風予報のため、比較的、風が穏やかな8日に登頂を変更する。

7日深夜に八ヶ岳山荘に到着。仮眠室で休息。

8日早朝、身支度をして出発する。

安全に下山し、小屋に到着するため、山頂到着時間に制限時間を12時30分と決め行者小屋にてハーネス、パスロープ等の準備し、山頂を目指す。2609m地点で12時30分を過ぎたため、登頂を諦め、下山する。15時にはメンバー全員が小屋に入り、体を休める。赤岳鉱泉名物のステーキは残念ながらありつけなかったが、豚しゃぶとホットケが出て、美味しくいただく。

9日は美濃戸口まで下山。途中で、雪山に必要なロープワークの練習をする。下山後、昼食に八ヶ岳山荘で山賊焼き定食を食べ、諏訪湖近くの毒沢鉱泉で体を温め、帰路につく。



1. 八ヶ岳の山々、目指す赤岳は右から二つ目のピーク。



2. 八ヶ岳山荘で仮眠をとり、身支度を整え、いざ出発。天気も良く、良い山行になりそう。



3. 1時間歩き、美濃戸山荘に到着。  
ここでチェーンスパイクから  
アイゼンに履き替え体も暖まり、  
服装チェックし、再出発。



4. 南沢を歩く。



5. 快晴の八ヶ岳。最高の景色に出会う。



6. 行者小屋に着く。安全装備を身  
に着け、赤岳を目指す。



7. 行者小屋周辺は、連休で、多くのテント  
が張られていた。赤岳を目指す者、  
アイスクライミングを楽しむ者、  
山の楽しみ方は色々とあるようだ。



8. 赤岳を目指す。行者小屋を出発し、  
すぐの針葉樹林帯を歩く。



9. 文三郎尾根を上る。かなりの急登。  
天気が良く景色は最高。



10. 2609m 地点で時間切れ。  
残念ながらここで、引き返す。



11. 赤岳山頂をバックに。



12. 思っていたより急峻な赤岳。



13. 冷えた体を温める夕食。



14. 小屋の料理は美味しい。



15. 下山日、赤岳鉱泉に作られた、アイスキャンディーをバックに。アイスクライミングの練習場として、多くの人を訪れているようだ。



16. 北沢を通り、下山。



17. ハケ岳山荘名物、山賊焼き定食。ボリューム満点。メンバー全員完食。



18. 帰路途中に寄った毒沢温泉。